
絵本の広場

〈中央公民館〉

- 開設の趣旨 中央図書館と連携し、毎月1回幼児、小学生および保護者対象に絵本の読み聞かせを行い、本に親しむきっかけ作りをする。
- 期間 平成29年4月～平成30年3月 第3土曜日 (計12回)
- 時間 午前11時30分～正午※スペシャル年2回1時間 (計7時間)
- 対象 市内在住又は在勤の方、幼児から小学生及び保護者
- 参加者 92人 参加延べ人数 129人
- 講師 読み聞かせグループ十二の会
- 内容 絵本・紙しばいの読み聞かせ、手遊び
〈8月のスペシャル〉
絵本・紙芝居・パネルシアター・大型絵本・手遊び・へんしん
紙皿・ウクレレにあわせてうたおう
〈1月のスペシャル〉
絵本・紙芝居・パネルシアター・大型絵本・手遊び・手袋人形・
おはなし・鬼のパンツ

○ま と め

昨年まで平日木曜日の午後3時30分から開催していたが、幼児にとっては遅い時間帯で、小学生は下校していないため、来場者の確保が難しかった。そこで、今年度は第3土曜日の午前中に変更し、公民館まつりで読み聞かせをしてもらうなどしたが、なかなか来場者が増えなかった。

年2回のスペシャルの前には近隣の子どもの多い地域にビラをまいたり、ポスターを貼るなどして、夏は34名、冬は21名の来場者があった。しかし、なかなかリピーターにならないため、これからも工夫が必要である。

こども体験講座 ～ミュージカルダンスにチャレンジ～

〈中央公民館〉

- 開設の趣旨 ミュージカルダンスを体験することで自己表現の楽しさを学
ぶとともに仲間作りをする。今年度は初めてCクラスを新設した。
- 期 間 平成29年7月27日（木）～30日（日）（計4回）
- 時 間 Aクラス 午前10時～11時30分
 Bクラス 正午～午後1時30分
 Cクラス 午後2時～3時30分 ※2・3日目のみ （計15時間）
- 対象・定員 市内在住の小学生・各クラス20人
- 参加者 25人 参加延べ人数110人（発表会観客95人）
- 講師・事業内容

回	月 日（曜日）	内 容	講 師
1	7月27日（木）	ウォームアップ・曲の練習	RAD（ロイヤル・アカ デミー・オブ・ダンス） 認定講師 福田 真紀子
2	7月28日（金）	ウォームアップ・曲の練習	
3	7月29日（土）	ウォームアップ・曲の練習	
4	7月30日（日）	ウォームアップ・曲の練習・ 発表	

○まとめ

ヨーロッパを中心に「ライオンキング」などの数多くの公演に出演し、現在、英国在住の講師が、帰国の際に子どもミュージカル体験講座を指導する講座として定着している。

初心者クラスと経験者クラスのA・Bに分けてレッスンし、その中からCクラスを選抜した。今年度の受講者はとても活発で積極的に練習に取り組み上手に踊ることができた。最終日の発表会では、70名の保護者が見学した。みんな力いっぱいのパフォーマンスを披露し、感想発表もしっかりできた。今年度初めて新設したCクラスは選抜方法が難しいため来年度は設けない。

最近学校が忙しくなかなか定員に達せず学年も低学年が多いが、ミュージカルダンスというジャンルは他では見られないので継続したい。



サマースクール

〈中央公民館〉

- 開設の趣旨 夏休み期間に、ボランティアや市内公共施設等とも協力しながら青少年の体験学習の機会を提供する。
- 期 間 平成29年8月19日(土)・22日(火)・23日(水)(計3回)
- 時 間 午前10時～正午、22日は午前8時30分～午後4時(計11時間30分)
- 対象・定員 市内在住の小学4年～6年生・30人
- 参加者 26人 参加延べ人数65人
- 講師 第1回・斉藤政登、第2～3回・環境教育支援ネットワークきづき 荻原 洋志、櫻 博子

○事業内容

回	月 日(曜日)	内 容
1	8月19日(土)	「空気存在を確かめよう。」をテーマに、体育室でグループに別れ各自紙飛行機を作り、空気に乗せ遠くまで飛ばす体験をした。段ボール箱で空気砲を作り白色の砲弾を放した。
2	8月22日(火)	館外学習で、県防災学習センターを訪れ、暴風・煙・消防体験をした。県環境科学国際センターで地球環境を学習した。
3	8月23日(水)	ペットボトルの中の空気存在を目で確認した。閉会式

○まとめ

今回は「風・空気を体験しよう」というテーマで実施した。手に触れることができず、目で見えにくいものであったが、講師の工夫により、体験学習も館外学習での施設見学も子どもたちにとって、風と空気存在を身近に感じることができる分かり易いものであった。講座の最終日に修了書を交付したが、26人中23人に交付することができた。



にいざ親子料理教室～バレンタインのお菓子～

〈中央公民館〉

- 開設の趣旨 小中学生の親子を対象に、地元食材を使った季節の料理を作る。
- 期 間 平成30年2月3日(土)
- 時 間 午前10時～午後0時30分 (2.5時間)
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・10組
- 参加者 10組23人 保育2名(保育サポーター2名)
- 参加費 1人500円(材料代)
- 講師 管理栄養士 鈴木香
- 事業内容 親子でバレンタインのかわいいケーキポップスを作る。
- まとめ

当初12月にクリスマス料理を予定していたが、講師の都合が合わず、2月にバレンタインのお菓子作りを設定した。一人4本のケーキポップスを作り、1本ずつラッピングして持ち帰ったが、とてもかわいく仕上がり受講者も満足そうだった。親子料理の場合、季節の行事に合わせたメニューとしたほうが参加希望者が多くなるようだ。アンケートでも「親子で料理ができる」という受講理由が多く「子どもと楽しい時間を過ごせた」という感想が多かった。新座の食材を使うということでニンジンをストックケーキに練り込んだが、新座の食材にも限りがあり工夫が必要である。

保育に関して初めは4名の希望があったが、家族が見るなどの理由で当日2名のキャンセルがあった。また、直前のキャンセルが2組で材料費を集める講座の難しさを感じる。



ケーキポップス

歴史講座～伊勢物語を読む～

〈中央公民館〉

○開設の趣旨 「伊勢物語」の主人公とされる在原業平は各地で様々な伝説を残しており、新座市でも平林寺の中の業平塚がある。業平の伝説を学ぶ。

○期 間 平成29年9月30日～10月21日（毎週土曜日）（計4回）

○時 間 午前10時～正午（計8時間）

○対象・定員 市内在住、在勤又は在学の成人・40人

○参加者 36人 参加延べ人数133人

○講師 国文学研究者 棚木 恵子

○事業内容

回	月 日（曜日）	内 容
1	9月30日（土）	平安朝政治史と「伊勢物語」
2	10月7日（土）	歌人の理想在原業平～一段を読む～
3	10月14日（土）	歴史の中のスキャンダル・物語のスキャンダル～四段・五段を読む～
4	10月21日（土）	平安朝文化史・疾病とトイレ～六段を読む～

○ま と め

伊勢物語は、125段ありその内の9段までの講義をした。最終回到講師から、今年度限りの講義ではなく、次年度以降も継続していくことが伝えられた。4日間の講義中3日間雨であったが、毎回30人以上の方が受講する好評なものであった。

アンケートの結果から、7割以上が大変良かったと評価しており、興味深く楽しい内容であったとのことであった。受講者が来年度以降の講座に期待をしていることが分かった。





七夕ロビーコンサート

～アルパ弾き語りとフルーツによる名曲の調べ～

〈中央公民館〉

- 開設の趣旨 地域の方々に、本物の芸術や文化を身近に感じ、見たり、聞いたりして今後の人生に活かしてもらう。今回は、ラテンアメリカの民族楽器アルパの弾き語りとフルーツのアンサンブルを楽しむ。
- 期 間 平成29年7月1日（土）
- 時 間 午後1時30分～3時（1.5時間）
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・80人
- 参加者 81人
- 講師 アルパ、メゾソプラノ池山由香・フルーツ、オカリナ篠原梨恵
- 事業内容

月 日（曜日）	内 容		
7月1日（土）	第一部(13:30～14:10) ・たなばたさま ・ラ・ノビア ・ラ・クンパルシータ ・悲しき口笛 ・千の風になって ・コーヒールンバ ・コンドルは飛んでいく ・花祭り	休憩 10分	第二部(14:20～15:30) ・エストレリータ ・子象の行進 ・ケーナ・デ・ロス・アンデス ・牛乳列車 ・チャルダッシュ ・見上げてごらん夜の星を ・ラス・チアパネス

○ま と め

3年目を迎えた七夕ロビーコンサート。今年度は、ラテンアメリカの民族楽器アルパとフルーツの演奏会を企画した。ロビーの装飾を工夫して七夕の雰囲気を出し、アルパの演奏と歌、フルーツとオカリナの息の合った演奏で素晴らしいひとときとなり感動したという感想が多かった。参加者の年代は60代以上が圧倒的に多く、今後も生演奏を聴く機会を身近な公民館で企画して、ロビーコンサートを地域に浸透させたい。当初申込み状況が思わしくなく、公民館のサークルに声をかけたが、あまり知られていないことがわかり広報について再考したい。写真はJ-COMで放映された映像である。



家庭教育学級企画準備会

〈中央公民館〉

- 開設の趣旨 地域の保護者及び学校と連携して開催する家庭教育学級講演会の企画準備を行う。
- 期間 平成29年6月14日、7月12日、9月6日、10月11日、12月13日、平成30年1月24日（各水曜日）（計6回）
（ただし、1月13日の講演会は土曜日）（計6回）
- 時間 午前10時～正午（計12時間）
- 対象 第五中学校、八石小学校、栗原小学校、野寺小学校の保護者10人及び中央公民館職員
- 参加者 10人 参加延べ人数73人

回	月 日（曜日）	内 容
1	6月14日（水）	今までの経過説明と本年度家庭教育学級について、講演テーマ・講師について
2	7月12日（水）	講演テーマ・講師候補について
3	9月6日（水）	講師の決定について
4	10月11日（水）	役割分担、保護者への通知及び参加者名簿の作成について
5	12月13日（水）	参加者・保育希望者人数の最終確認、当日のタイムスケジュールについて
6	1月13日（土）	家庭教育講演会準備及び講演会
7	1月24日（水）	反省会

- 事業内容
- まとめ

家庭教育学級は、平成9年～16年まで実施した後中断し、平成22年度から5校と中央公民館共催で7回、平成29年度は片山小が抜けて4校で実施した。各校から選出された役員2名と中央公民館職員で、小・中学生の保護者向けの講演会を企画した。今年度は、思春期を迎える小学校高学年、中学生となる子どもを持つ親を対象にアンガーマネジメントにより、感情のコントロールや正しい叱り方を学習した。

また、平成27年度の8月の企画準備会・講演会準備時の保育要望や対象を小学生低学年に広げた保育についての要望があり、今年度も引き続き対応した。

子どもを持つ保護者の活動にとって必要な対応であるので、今後も続けていきたいと考えている。

反省会では、企画から関わることができ、他校の方と話ができてよかった、和気あいあいとした雰囲気楽しかったなどのご意見をいただいた。

4校合同・中央公民館共催
家庭教育学級講演会

〈中央公民館〉

- 開設の趣旨 地域の保護者及び学校と連携し家庭教育について学ぶ。
- 期 間 平成30年1月14日(土)
- 時 間 午後1時30分～3時30分 (計2時間)
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・100人
- 参加者 146人
- 保育 29人(内未就学児14人・小学生15人)
- 講師 日本アンガーマネジメント協会認定
シニアファシリテーターAngeGardien 代表菅野昭子
- 事業内容 思春期の子どもを持つ親の家庭教育～6秒で親子が変わる！
怒り・イライラのコントロール術～
- まとめ

7月に開催した第3回家庭教育学級企画準備会において講演テーマ及び講師の候補を協議し、その結果、アンガーマネジメントによる子育ての講演という方向となった。小学校高学年と中学生の共通なテーマとして「思春期の子どもを持つ親の家庭教育」とした。日本アンガーマネジメント協会に講師の派遣を依頼し、菅野昭子氏に講演をお願いした。ご自身には二人の娘がおり、この子育て経験を交えたわかり易い講演内容で、アンケートの結果、参加者146人中92人の63%以上の方から回答があり、半分以上の方が「大変良い」との評価であった。



初心者のためのエクセル講座

〈中央公民館〉

- 開設の趣旨 エクセル初心者を対象にエクセルの基本的な機能を学ぶ。
- 期 間 平成29年9月5日（火）～9月8日（金）（計4回）
- 時 間 午前9時30分～正午（計10時間）
- 対象・定員 市内在住又は在勤のWordで文章を作成できる方・15人
- 参加者 13人 参加延べ人数48人
- 講師 パソコン指導者ボランティアサークル・パソボラいるか 亀山 一夫
- 事業内容

回	月 日（曜日）	内 容
1	9月5日（火）	エクセルの基礎知識 ほか
2	9月6日（水）	データの入力 ほか
3	9月7日（木）	表の作成 ほか
4	9月8日（金）	グラフの作成 ほか

○ま と め

家計簿や住所録を作りたい、仕事に生かすため、老後生活の旅のデータ管理のためなど、エクセルを使ってそれぞれの目的のために、エクセルを学びたいということから講座は開催された。

残念ながら、キャンセル1名と欠席1名があり13名の方々が、テキスト「初心者のための MicrosoftExcel2013」を基に、パソボラいるか（講師：亀山一夫）のサポートによる懇切丁寧な指導が行われた。

アンケートによると、全ての受講者の評価が「良い」又は「大変良い」との結果であり、十分な指導内容と思われる。

エクセル講座は、スマートフォンなど携帯電話とは違い、表計算やデータ管理ができることから根強い人気のソフトウェアであり、需要に応えるためにもまだまだ講座の必要性があると考えます。



初級インターネット講座

〈中央公民館〉

- 開設の趣旨 インターネットを初めて行うための基礎知識と操作方法について学ぶ。
- 期 間 平成29年12月12日(火)～12月15日(金) (計4回)
- 時 間 午前9時30分～正午 (計10時間)
- 対象・定員 市内在住又は在勤のWordで文章を作成できる方・15人
- 参加者 14人 参加延べ人数53人
- 講師 パソコン指導者ボランティアサークル・パソボラいるか 宮田滋一
- 事業内容

回	月 日(曜日)	内 容
1	12月12日(火)	インターネットの基本
2	12月13日(水)	ヤフーによる検索
3	12月14日(木)	グーグルによる検索 ① 検索ボックスの使い方 ② 検索方法 ③ 検索条件
4	12月15日(金)	④ ネットからワードへのコピー ⑤ ネットの管理方法

○ま と め

パソコン講座の一環として「初級インターネット講座」を開講した。今やパソコンに限らず携帯電話によるインターネットへの接続が必須であり、インターネットの知識や操作方法など必要課題である。

今回の受講者は、ワードができる方と条件を付けた講座であったが、携帯電話の文書が打てる程度で、フォルダ管理や検索方法などは理解する人が少なくカリキュラムを進める事に苦慮していた。

インターネットに係る機能の説明から検索方法とか、最短で問題が解決できる方法を伝授してくれたり、要求に応じた情報に辿りつく方法などを講義された。

今回は、初級インターネットであることから、インターネットの基本に重点を置いて、パソコン操作を中心に行われ、ここまでは完ぺきというのが加わると更に良かったと感じた。



異文化交流セミナー～女流画家が語るクロアチア～

〈中央公民館〉

- 開設の趣旨 クロアチア出身の画家ジョージア・ポーシック氏からクロアチアについて学び、異文化交流を推進する。
- 期 間 平成29年9月21日(木)
- 時 間 午後1時30分～3時 (1.5時間)
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・20人
- 参加者 20人
- 講師 画家 ジョージア・ポーシック
(アシスタント 青木悦子)
- 内 容 受付 13:00～
講演 13:30～15:10 (視聴覚室)
休憩 5分
絵画鑑賞会 14:30～16:00 (講義室)
絵画展示 ジョージア氏の作品13点展示

○ま と め

ジョージア・ポーシック氏からクロアチアに関するお話をしてもらい、日本語の足りない部分を青木さんにフォローしてもらいながらすすめた。クロアチア大使館から借用した美しいビデオも参考に、インターネット等だけではわからないクロアチアについて知ることができた。その後、クロアチアのお菓子をつまみながら、ジョージアさんの解説で、絵を鑑賞した。

クロアチアを旅行先として考えている方の質問が多く、クロアチアの文化や歴史的な部分について物足りなさを感じた。事前に打ち合わせを行ったが、もう少し詳しく内容をつめておくべきだった。保育をつけたが希望者はなかった。



子育て応援講座「ひよこ学級」

〈中央公民館〉

- 開設の趣旨 幼児期の子を持つ保護者が、子育てについて学ぶ機会を作り、仲間づくりの支援をする。
- 期 間 平成29年9月6日～10月18日（各水曜日）（計7回）
- 時 間 原則として、午前10時～正午（計14時間）
- 対象・定員 市内在住又は在勤の2歳から3歳幼児と保護者・20組
- 参加者 21組 参加延べ人数 122人
- 保 育 21人
- 参加費 200円（実習材料費）
- 講師・事業内容

回	月日（曜日）	内 容	講 師	参加数
1	9月 6日（水）	開講式・自己紹介・3B体操	大和田恵美	17人
2	9月13日（水）	受援力のすすめ （公開講座）	神奈川県立福祉大学保健福祉部看護学科准教授 吉田穂波	23人
3	9月20日（水）	絵本と子育て	はとさん文庫服部雅子	13人
4	9月27日（水）	子育て世代のマナープラン（公開講座）	埼玉県消費生活支援センター 本岡藤栄	22人
5	10月 4日（水）	安心安全料理	武蔵野友の会	14人
6	10月11日（水）	セルフリンパケア	杉本千春	16人
7	10月18日（水）	親子で楽しむコンサート・小さなお話し会	パマンブル お話しオルゴール	17人

○ま と め

昨年度6回の講座を今年度は7回に増やした。内容については子育ての助けとなる講座を中心に、親自身がりフレッシュできるリンパケアを入れた。それぞれ満足度が高く、楽しく取り組み、今後役に立つという感想が多かった。

受講者集めは毎年苦勞するが、今年度は比較的早く定員に達した。ただし、幼稚園のプレ保育との競合やお子さんの体調など欠席が多いことは残念である。定員に達しないという悩みは全館共通の悩みであり、今年度は8館共通のポスターを前期後期に分けて作成し、子育て支援センターなどに配布した結果、一定の効果は得られたようだ。

保育サポーター養成講座

〈中央公民館〉

- 開設の趣旨 公民館保育について必要な知識を学び、保育サポーターの資質向上と保育技術のスキルアップを図る。なお、保育サポーターの担当となる社会教育指導員も参加する。
- 期 間 平成30年2月14日（水）・23日（金）・27日（火）（計3回）
- 時 間 午前10時～12時30分（救急法9時～12時）
（計8.5時間）
- 対象・定員 保育サポーター登録者および新規登録予定者・社会教育指導員
- 参加者 40人 延べ人数109人
- 講師・事業内容

回	月日（曜日）	内容	講師
1	2月14日（水）	普通救命講習会	新座消防署片山分署
2	2月23日（金）	〃	〃
3	2月27日（火）	発達の視点からの保育サポート	立教女学院短期大学幼児教育科専任講師 田坂裕子
4	2月27日（火）	保育に使える簡単折り紙	折り紙講師 本多秀子

○ま と め

公民館・コミセンでは保育付き講座を開催する場合、保育サポーターの協力が不可欠である。そこで年一回保育サポーター研修を実施し、資質向上を図っている。29年度は保育付き講座開催時に保育サポーターが見つからない事態が発生したため、保育サポーターの募集を行い、新規登録予定者も合わせて受講した。新しい方が増えることもあり、研修の重要性も増している。

普通救命講習は、毎年のことだがやはり忘れていた点もあるので毎年確認することが大切である。なお、救急法の受講は必須となっており、受けられなかった場合は消防署の講習を受けてもらう。

「発達の視点からの保育サポート」では、親と子双方へのサポートについて話してもらった。保育は子育て中の親の「安全地帯」となり「大丈夫だよ」と安定させる役割があるとのことのお話だった。「保育に使える折り紙」では、鶴の折り方を基本に発展型と伝承折り紙の「百面相」という折り方を教わった。講師のパワフルな教え方に、とても盛り上がった。



癒やしの講座「テラリウム」

〈中央公民館〉

- 開設の趣旨 テラリウム作りを通して、日常から離れ、癒やしの時間を過ごす。
- 期 間 平成29年6月17日（土）
- 時 間 午後1時30分～3時30分 （2時間）
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・15人 保育1名
- 参加者 16人
- 参加費 1,500円（材料代）
- 講師 緑花星 花育アドバイザー 石戸明一
- 内 容 苔や岩石などを使ってテラリウムを作る。
- ま と め

受講者は20～30代18%、40～50代50%と、比較的若い層が多く、「テラリウム」への関心の高さがうかがえた。今回は苔を使ったテラリウムということで、3種類の苔、富士山の溶岩、フィギアを使ってケースの中に立体感のある自然美を表現した。テラリウムの管理方法についてもていねいに指導していただいた。できあがった作品は、同じ材料でもそれぞれとても個性的な仕上がりとなった。



癒やしの講座「ハワイアンキルト入門」

〈中央公民館〉

- 開設の趣旨 物作りをとおして、心豊かな時間をすごし、自身の生きがいとなるような趣味を見つける。
- 期 間 平成30年1月6日(土)・13日(土)・27日(土) (計3回)
- 時 間 午前10時～正午 (6時間)
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・12人
- 参加者 12人 延べ人数34人 保育3人
- 参加費 2,500円(材料代)
- 講師 カイオロヒア主宰 内堀智子
- 内 容 ハワイアンキルトのポーチを作る。
- ま と め

保育をつけたため20～30代25%、40～50代25%と比較的若い世代の参加が多かった。事後のアンケートでも「とても楽しかった」「わかりやすかった」「子どもの手が離れたらまたやりたい」などの感想が多かった。材料はキットになっているものを使用したが、裁縫に慣れていない受講者が多く、予定していたよりも時間がかかった。自宅ですすめてもらう部分も多く、手芸の講座は技能の差が大きいのが難しい点である。

講座終了後も継続を希望する人が7名おり、公民館サークルを立ち上げた。

〈作成したポーチ〉



パソコン・サロン

〈中央公民館〉

- 開設の趣旨 　これからパソコンを勉強しようとしている人、入門講習を終了してさらにスキルアップを目指す人のために、パソコン指導者のボランティアサークルと連携して開設する。
- 期　　間 　平成29年4月11日（火）～平成30年3月27日（火）
（計36回）
- 時　　間 　毎月第2・4火曜日の午後1時30分～4時30分
毎月第3火曜日の午後6時～8時　　　　　　　　　（計96時間）
- 対象・定員 　市内在住又は在勤の方で初心者講習を終了した方、又はこれからパソコンを始めたい方・12人
- 参　加　者 　参加延べ人数475人
- 参　加　費 　無料（ただし、資料代としてコピー代実費を徴収）
- 講　　師 　　パソボラいるか（パソコン指導者ボランティアサークル）
- 事　業　内　容 　参加者個人が学習したいレベルに合わせた内容で実施している。
- ま　と　め

講師は、平成15年11月に当館で開催した「パソコン指導者養成講座」を修了した有志により発足した「パソボラいるか」のメンバーが、ボランティアで務めている。

公民館開催の初心者パソコン講座修了者や、パソコン操作を学びたい方を対象に、当日直接申込制で、それぞれの参加者の質問に個別対応する場となっている。

参加者が昨年より減少したが、依然として需要は高く、マンツーマン指導してくれるこの講座はユーザーにとって安心できる存在である。

そういったことから、最新機種 of 整備を求められているところだが、財政的に難しいことから現状の中での指導をお願いしている。



CO₂削減 緑のカーテンで夏を涼しく

〈中央公民館〉

○開設の趣旨 ゴーヤ等でグリーンカーテンを作る方法を学び、環境対策について考える。

○期 間 平成29年6月13日（火）

○時 間 午後2時～4時（計2時間）

○対象・定員 市内在住又は在勤の方・15人

○参加者 7人

○講師 環境まちづくり地域協議会 inにいざ代表 櫻 博子ほか2人

○事業内容

回	月 日（曜日）	内 容
1	6月13日（火）	(1) 地球温暖化が及ぼす影響と環境対策について (2) グリーンカーテンを作る方法・質疑応答 (3) ゴーヤ料理のレシピ紹介

○ま と め

地球温暖化を抑えるためにCO₂を削減することが大切だが、一人ひとりが無理なく取り組める方法として、ゴーヤでグリーンカーテンを作ることを提案し、実際のゴーヤの苗を使って、土壌づくりから植栽、摘芯、摘み取りまで、具体的な育て方の説明があった。受講者から細かい質問が多く出されたが、一つ一つ丁寧に答えてくれた。

受講者からは、「本やネットで調べるより、実体験やコツが聞けてとても参考になった。「講師の話が分かりやすく、面白かった。」「ゴーヤ料理をあまり知らないなので、助かった。」などの感想が寄せられ、大変好評であった。

最後に、受講者がグリーンカーテン作りを実践できるよう、ゴーヤの苗を1人2株ずつ配布した。

なお、本講座については、中央・栗原・大和田・西新の4館で開催したが、広報・ポスター・ホームページ等による募集は、1つにまとめて行った。



カメラ撮影基礎講座

〈中央公民館〉

- 開設の趣旨 写真に興味があり高額なAF一眼レフでなくとも、コンパクトカメラ以上で、写真の楽しさを学びたい人、自信を持って見せたい人、メカニズムが難しいと思っている人などが、気負うことなく気軽に写真が撮れるテクニックを写真家から学ぶ。
- 期 間 平成29年4月8日・22日、5月13日・27日、6月10日・24日、10月28日、11月11日（各土曜日）（全8回）
- 時 間 午前9時30分～正午、6月10日は午前8時30分～午後4時30分（全25.5時間）
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・20人
- 参加者 20人（延べ154人）
- 講師 写真家 福永 一興
- 事業内容



月 日（曜日）	内 容
4月8日（土） 午前9時30分～正午	写真の持つ奥行きについて
4月22日（土） 午前9時30分～正午	宿題に対する講評
5月13日（土） 午前9時～正午	館外撮影実習（平林寺）
5月27日（土） 午前9時30分～正午	実習に対する解説と講評
6月10日（土） 午前8時30分～午後4時30分	館外撮影実習（国営武蔵丘陵森林公園）
6月24日（土） 午前9時30分～正午	実習に対する解説と講評及び写真の持つ意義
10月28日（土） 午前9時30分～正午	作品展準備と講評
11月11日（土） 午前9時30分～正午	作品展会場撤収、解散式

○ま と め

カメラ撮影基礎講座は、昨年度に引き続き2回目の企画で、プロを目指すのではなく、如何にアマチュアとして「カメラ」というツールで楽しむことができるかをコンセプトに講座を開催した。

館外撮影として「平林寺」と「国営武蔵丘陵森林公園」の撮影ポイントをグループ単位で移動し、撮影を行った。写真は個単位と考えがちでグループ単位で行動することはなじまないと考えていたが、それぞれの構図や明暗、純光（逆行）、シャッタースピード、絞り、ぼかしなど教わったことを工夫しながら撮影している姿があり、逆にグループ単位の方が安心して撮影できたように感じた。

作品展は、1人2点の作品を受講生自ら展示して、245人の来場者を迎え、作品の説明等を行った。

人権を考える

〈中央公民館〉

- 開設の趣旨 当館利用者を対象に人権について学習する。
- 期 間 平成29年10月7日(土)
- 時 間 午前10時30分～11時4分 (34分)
- 対象・定員 当館利用者・103人
- 参加者 65人
- 事業内容 人権資料のDVD「風の匂い」の上映
- まとめ

中央公民館利用者懇談会時に、参加した利用者を対象に上映した。

DVDの内容は、平成28年4月に「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」が施行され、不当な差別的取扱いの禁止、合理的配慮の提供が求められている。障害のある人は社会の中にあるバリアによって行動の制限や不当な扱いを受けるなど、生活しづらい状況におかれることがある。このバリアは物理的な問題だけではなく、障害のある人への差別意識や知識不足からも生まれている。一人ひとりの意識を変えて、「バリア」をなくしていかなければならないと考える。

人権問題について、考えるよい機会となった。

スマホ入門講座

〈中央公民館〉

- 開設の趣旨 スマートフォン初心者やこれから使用を考えている人を対象に、基本的な操作、使用上の危険性及び災害時の利用方法などを学ぶ。
- 期 間 平成29年11月14日（火）
- 時 間 午前10時～正午（計2時間）
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・20人
- 参加者 19人
- 講師 K D D I スマホ・ケータイ安全教室インストラクター 海崎千恵子及びサポーター（計5人）

○事業内容

回	月 日（曜日）	内 容
1	11月14日（火）	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎編（スマートフォンって何？） ・基本操作編 ・安全・安心便利なアプリ活動活用編 ・災害対策アプリほか

○ま と め

スマホ講座は、メーカーの説明が身近な所がないことから、購入を考えている方や購入したがわからないなど、解決策がないことから需要が高い講座となっている。今回も申込みは、15分で定員に達し需要の高さを示している。

今回も昨年に続きシニア向け内容ということもあり約9割の方が60歳以上で、とても活発に質問したり、積極的に操作を行ったりと向学心に満ち溢れていた。

アンケートでは、全てが「良い」以上で満足いく結果となった。また、講師の指導方法や説明などとても親切で理解ができたが、反面一部には基礎ベースの講座で物足りなさを感じた方もいた。

当講座は、このように需要が高い事からも今後引き続き継続する必要があると思う。



タブレット入門講座

〈中央公民館〉

- 開設の趣旨 タブレットを契約する前に使ってみたいという方が、アプリケーションやインターネットを安心・安全に使えるよう操作方法について学ぶ。
- 期 間 平成30年3月6日（火）
- 時 間 午前10時～正午（計2時間）
- 対象・定員 市内在住又は在勤のWordで文章を作成できる方・20人
- 参加者 19人
- 講師 KDDIスマホ・ケータイ安全教室（認定講師） 齋藤 卓也
- 事業内容

回	月 日（曜日）	内 容
1	3月6日（火）	第一部 タブレットとは、基本操作、インターネットの活用 第二部 アプリの活用、安全なアプリの使い方、災害対策アプリ紹介

○ま と め

初めてタブレット講座を開催したが、申込み開始後すぐに定員がいっぱいになるなど関心の高さがうかがえた。

講座に先立ちスマートフォンの使用状況を確認すると三分の一の受講生が利用していたが、タブレットについては殆どの方々が初めて触れるということで、ホーム画面のアイコンの説明や各部の名称など興味津々に受講していた。

ATMなどは感圧式と呼ばれ、しっかりと押さなければ作動しないようになっている。それに比べてタブレットは静電式で指の先でトンと触れただけで次画面に移行する。画面を横に払う「フリック」、画面を叩く「タップ」、2回叩く「ダブルタップ」、二本の指で画面を閉じたり開く「ピンチイン」「ピンチアウト」、画面を指で滑らす「スライド」など初めて聞く名称に戸惑いながらも、練習を繰り返す中で徐々に慣れていった。タップの練習用に「脳トレ」のゲームで盛り上がった。後半はインターネットの音声入力、新座市のホームページから災害対策アプリにつなぐ方法や、カメラ機能を実際に試してみた。

最初は硬い表情の受講者も後半は楽しそうに操作する様子が見られた。



初めての陶芸

〈中央公民館〉

- 開設の趣旨 初心者を中心に造形の喜びや難しさ、そして達成感を体得し、新たな発見を体感しながら陶芸を学ぶ。
- 期 間 平成29年10月14日、11月4日・11日・18日（各土曜日）
（計4回）
- 時 間 午前9時30分～正午、11月11日は午後1時30分～4時（計10時間）
- 対象・定員 市内在住、在勤の方・10人
- 参加者 9人 参加延べ人数36人
- 講師 田中 房市
- 事業内容

回	月 日（曜日）	内 容
1	10月14日（土） 午前9時30分～正午	基礎知識、制作、乾かす
2	11月4日（土） 午前9時30分～正午	割れ確認、削り、素焼き
3	11月11日（土） 午後1時30分～4時	削り、薬掛け、本焼き
4	11月18日（土） 午前9時30分～正午	窯開け、作品講評



○ま と め

中央公民館には唯一陶芸窯を所有していることから、「初めての陶芸」講座を開講した。

作業は、初日に基礎知識の後、制作に取り掛かったが大半の方はイメージを持ち合せていなかったこともあり、玉作りや紐作り、たたら作りの制作方法を選ぶことから悩んでいた。受講生は、その中でもイメージを掘り起こし、講師のアドバイスを受けながら次々と粘土作品が制作された。

素焼きでは、残念ながら1作品が割れてしまった。薬掛けでは、透明釉、黒天目、白天目、織部、赤などが用意され、出来上がりのイメージがなかなかかわかず悩んでいた。受講生にとっては、全色を使ったり、同じ色合いになってしまったりと、本焼きの結果から薬掛けの重要性を感じていた。

今回、初心者を対象に陶芸を学んだが、粘土作品の制作と薬掛けの段階が充分ではなかったように感じたので、その段階を悔いのないように検討できる時間や説明を充実して行いたい。

夏の終わりのロビーコンサート

〈中央公民館〉

- 開設の趣旨 地域の方々に、本物の芸術や文化を身近に感じ、見たり、聞いたりして今後の人生に活かしてもらう。今回は、新座市出身の音楽家からの申し出によりコンサートが実現した。
- 期 間 平成29年8月23日（水）
- 時 間 午後3時～4時30分（1、5時間）
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・80人
- 参加者 87人
- 講師 ヴァイオリン大塚野乃子・ピアノ齋藤友香・フルート市山ゆう
- 事業内容

月 日（曜日）	内 容		
8月23日（水）	第一部 ・愛の挨拶 ・リトルマーメイド ・チャールダーシュ ・パンの笛 ・ノクターン2番 ・カントリーロード ・365日の紙飛行機 ・サンタルチア ・アイネクライネナハトムジーク ・美女と野獣 ・愛の芽生え ・誰も寝てはならぬ	休憩 10分	第二部 ・水上の音楽 ・ユーモレスク ・見上げてごらん夜の星を ・少年時代 ・四季メロディー ・ニューシネマパラダイスメドレー ・浜辺の歌

○ま と め

このコンサートは市内出身の大塚野乃子氏からの申し出により実現したが七夕ロビーコンサートに来ていただいた方の申込みが多数あり、ロビーコンサートが定着してきていることを感じた。当日キャンセルが多かったが、当日受付が188名おり盛況だった。「クラシックの中の聞き慣れた曲を生演奏で聴けてとても素晴らしかった」「新座市出身の若い音楽家が地元の公民館でコンサートを開催してくれることはとても素晴らしいこと。演奏レベルも高くとても楽しく聴けた」等の感想が多く、地域の方々に喜んでいただいた。

第5回夏の夜の少しこわいお話し

〈中央公民館〉

○開設の趣旨 日本に伝わる民話・怪談を朗読や話劇で楽しむ。

○期 間 平成29年8月5日(土)

○時 間 午後5時～6時(1時間) 午後4時30分開場

○対象・定員 市内在住又は在勤の親子・60人

○参加者 52人(子どもの人数 15人)

○講師・事業内容

回	月 日(曜日)	内 容	講 師
1	8月5日(土)	1 話劇 ・伊勢参りをした杉と松 ・あの世からの着信 ・墓を暴く老婆 ・ゆうれい屋敷 ・安達ヶ原の鬼婆 2 お楽しみ会(ヨーヨーつり)	話劇みのり 代表 山田 順子

○ま と め

この講座も5回目ということで半数がリピーターであった。今回は日程が地域のまつりと重なったためか事前の申込みが35名と少なかったが当日の参加が25名になり、最終的には52名の参加があった。

「話劇みのり」のみなさんが午前中から舞台準備を行い、リハーサルをして上演に備えた。内容的には演出や照明、音響などとても本格的で見応えがある。子ども向けに企画しているが、大人の鑑賞にも十分耐えうるものである。

話劇の後、駐車場でヨーヨーつりをして夏の夕べを楽しんだ。



人形劇フェスティバル企画準備会

〈中央公民館〉

- 開設の趣旨 市内及び近隣で活動する人形劇グループの合同公演を企画し、日程、準備事項を協議する。
- 期間 第1回 平成28年6月 2日(木) 顔合わせ、日程調整、役割分担
第2回 平成28年9月27日(火) チラシ印刷 (計2日間)
- 時間 午前10時～正午 (計4時間)
- 対象 市内で活動する人形劇団7団体
- 参加者 10人(人形劇あおむし、人形劇サークルたんぽぽ、人形劇どんぐりっ子、人形劇団ラ・ペ、おはなしカスタネット、おはなしオルゴール、ふろしき座(欠)公民館担当)延べ人数14人
- 決定事項
 - ①開催日 11月23日(水)祝日 午前10時開演 ※当日は午前9時集合
準備 11月22日(火)午後1時(舞台準備)
 - ②会場割
 - (ア)レクリエーション室(大きい子)→あおむし、たんぽぽ、どんぐりっ子、ラ・ペ、ふろしき座
 - (イ)視聴覚室(小さい子)→カスタネット、オルゴール
 - ③広報活動
 - (ア)ポスター、チラシの作成及び配布 ポスター80枚、チラシ1000枚
 - (イ)ポスター、チラシは、人形劇あおむしが作成にあたる。
 - (ウ)人形展示 11月上旬にガラスケース(1ケース)を中央公民館に展示する。
黒模造紙(2～3枚)青い布1枚を用意する。
 - (エ)フェスティバル開催までの期間中、中央公民館が大看板を設置する。展示の看板ポスターは、人形劇団で用意する。
 - ④その他
 - (ア)演目を決定したら中央公民館に連絡する。
 - (イ)順番は、どんぐりっ子→あおむし→ラ・ペ→ふろしき座→たんぽぽの予定
 - (ウ)たんぽぽは、舞台、照明を用意する。
 - (エ)公民館で用意する物は、デッキ、ピンマイク式、延長コード、電子ピアノ、暗幕、ガムテープ、机(1)、パイプイス(3)、畳(視聴覚室、レク室用)
 - (オ)おみやげ→折り紙で作る指人形(カスタネット) ※折り紙は公民館で用意
 - (カ)和室のお茶を公民館で用意する。お昼のお弁当は人形劇団が用意する。

第 2 4 回人形劇フェスティバル

〈中央公民館〉

○開設の趣旨 市内及び近隣で活動する人形劇グループの合同公演を通じ子どもたちの情操を高める。

○期 間 平成 2 9 年 1 0 月 2 9 日 (日)

○時 間 午前 1 0 時～正午

○対象・定員 市内在住又は在勤の方 (子どもを含む)・9 0 人

○参加者 1 0 4 人

○講師・事業内容

○ま と め

回	月 日 (曜日)	演 目 (団体名)
1	1 0 月 2 9 日 (日)	レクリエーション室：大きい子対象 ・さるじぞう (たんぽぽ) ・三匹のこぶた (ラ・ペ) ・たからげた (ふろしき座) ・ニヤオとないたのだあれ (あおむし) ・カメハメハ大王 (あおむし) ・ぐりとぐら (どんぐりっこ)
		視聴覚室：小さい子対象 ・三匹のヤギのがらがらどん (おはなしオルゴール) ・だいこんとにんじんとごぼう (カスタネット)

例年はすぐに定員が埋まるが、今年はなかなか定員に達しなかったため心配したが、結局 1 0 5 名の申込みがあった。ところが当日台風が来てしまい、開催も危惧する事態となったが、雨の中多くの親子連れが来館した。2 4 回という開催回数を見ても地域に根付いていることがうかがえる。

大きい子向けの演目は人形、セット、照明、音響などすべて本格的な人形劇で、子どもだけでなく大人も楽しめた。小さい子の部屋はわらべ歌など歌や手遊びも多く、抱っこで参加している小さなお子さんも親も笑顔だった。昨年度の反省から和室を乳児連れの方の休憩室とした。

フリースペース企画準備会

〈中央公民館〉

- 開設の趣旨 障がいのある人もない人もともに地域で豊かに暮らす、障がいのある人との出会い・ふれあいの場を企画する目的で1992年にスタートした。様々な事業の企画・立案をしている。
- 期間 平成29年5月12日(水)・9月13日(水)・11月8日(水)
平成30年3月7日(水) (計4回)
- 時間 午後1時～2時 (計4時間)
- 対象 市内在住又は在勤の方
- 参加者 6人 参加延べ人数 24人

回	月 日 (曜日)	内 容
1	5月12日(金)	新春ロビーコンサートとバスハイクについて
2	7月 5日(水)	新春ロビーコンサート(具体案)と 平成30年度バスハイクについて
3	11月 8日(水)	新春コンサートの準備について 平成30年度バスハイクについて
4	3月 7日(水)	新春コンサートアンケート結果及び反省 平成30年度バスハイク(具体案)について 中央公民館まつりについて 平成30年度新春ロビーコンサートの日程について

○事業内容

○まとめ

企画集団・フリースペースと連携して、障がいのある人もない人もともに楽しめるバスハイクやコンサートについて、障がいのある方も気軽に参加し、楽しめる内容を企画した。

5月に開催したバスハイクでは東京湾の船に乗船し学習を行った。

1月に開催した新春コンサートでは、休憩中に手作りのお汁粉でもてなし、参加者に大変喜ばれたので、今後も継続していく。

フリースペース新春コンサート ～フルートとピアノの調べ～

〈中央公民館〉

- 開設の趣旨 体験事業を通して、障がいのある人もない人もともに交流する場とする。
- 期 間 平成30年1月27日（土）
- 時 間 午後1時30分～3時30分（2時間）
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・80人
- 参加者 87人
- 講師 フルード奏者：佐々木 真
ピアノ奏者：由利 陽子
- 事業内容 フルードとピアノの演奏

回	月 日（曜日）	内 容
1	1月27日（土）	第1部 1 ヴァイオリン・ソナタホ短調 K.304（フルード版） 2 メヌエット（「アルルの女」第2組曲より） 3 セレナーデ（6つの歌曲より） 4 ユーモレスク Op.101-7 5 ヴェニスの謝肉祭（変奏曲）Op.78 （休憩） 第2部 1 早春賦 2 さくらさくら 3 おぼろ月夜 4 見上げてごらん夜空の星を 5 川の流れるように 6 花は咲く

○ま と め

9月13日（水）に開催したフリースペース企画準備会でロビーコンサートの内容を協議した結果、フルードとピアノの演奏を市内に住む佐々木真氏と由利陽子氏に決定した。事務局で出演の正式依頼をしたところ、快く引き受けていただいた。広報ニイザ1月号、HP、ポスター・チラシで呼びかけを行った結果、87人の参加があった。第1部はクラシック音楽5曲、第2部は日本の歌6曲の演奏で、アンケートを提出してもらった54人の約80%が「大変良い」という感想であった。休憩時間中に、前日から準備していた白玉入りのお汁粉を参加者に振る舞ったところ、大変おいしいと好評であった。

フリースペース～バスハイク～

〈中央公民館〉

- 開設の趣旨 体験事業を通して、障がいのある人もない人もともに交流とする。
- 期 間 平成29年6月1日（木）
- 時 間 午前8時20分～午後4時20分 （計8時間）
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・30人
- 参加者 26人
- 参加費 500円（高速道路代）
- 事業内容

回	月 日（曜日）	内 容
1	6月1日（火）	(1) 羽田空港国際線旅客ターミナル見学 (2) 新東京丸乗船

○ま と め

今年度も企画集団・フリースペースが県のリフト付きバス「おおぞら号」を借り、障がいのある方もない方も共に1台の車で、羽田空港国際線旅客ターミナルを訪れ、新東京丸に乗船し交流を図った。

羽田空港国際線旅客ターミナルでは、予定よりも30分遅れの午前11時到着であったがターミナル内を自由に見学し昼食をとった。その後、竹芝栈橋・竹芝小型船ターミナルに予定どおりの午後1時に到着し、午後1時30分に新東京丸に乗船した。約90分の乗船で東京湾内を一周し、係員の方から丁寧な説明を受けた。車いすの方もそのまま乗船でき、1階のフロアに今回のメンバー全員が乗船できた。乗船時に急な雨が降り出したが、乗船中は雨は止み、係員から今日ほど視界の良い日は珍しいとの話があった。帰りのバスでは、一日の感想を述べてもらったが、参加者全員から「とても楽しかった。来年も参加したい」などの感想をいただいた。



ロビーふれあいサロン

〈中央公民館〉

- 開設の趣旨 公民館ロビーを開放して、ゆっくりお話をしたり、本などを読んだり、また遊具を用意して子どもから高齢者に至るまで自由に過ごしてもらう地域のコミュニティの場として開催する。
- 期 間 平成29年4月1日～平成30年3月31日（全103回）
- 時 間 基本午後1時～5時、長期休業日午前9時～午後5時（全656時間）
- 対象・定員 地域の方
- 参加者 延べ497人
- 事業内容

	月 日（曜日）	参加者	内容	講師
1	4月1日（土）～3月31日（土） 基本午後1時～5時 長期休業中午前9時～午後5時	412人	遊具（トランプ、将棋、囲碁、オセロ、UNO、チェス、かるた、パズル）借用	なし
2	7月22日（土） 午後2時～2時30分	32人	ファミリーコンサート	パマンブル
3	12月23日（土） 午前11時～11時30分（一部） 午後2時～2時30分（二部）	44人	クリスマスファミリーコンサート	パマンブル
4	12月17日（日） 午後2時～4時	9人	ブレイキン（ブレイクダンス）を体験しませんか！	ビルドワース

○ま と め

遊具（将棋、囲碁、トランプ、UNO、チェス、オセロ、かるた、パズル）を用意し、子どもから高齢者に至るまで利用者の求めに応じて貸出しする。

その他のイベントとしては、「パマンブル」によるアンサンブル演奏と、「ビルドワース」によるブレイクダンスの演技が行なわれた。

「パマンブル」は、子育て中のパパやママに何よりも子ども達に音を感じて楽しんでもらいたいということからアンサンブルによるファミリーコンサートが開催された。

「ビルドワース」の講師は、審判の資格者でもあり、小学生の教えにも慣れており安心して任せられた。意外と体力を必要とし、柔軟性も併せ持ち体を360度回転するなど自由に身体を動かすスポーツであり、小さな動きや細かな動作を必要として、正しい指導が必要と感じた。

毎回広報活動として市広報紙「広報にいぎ」、市ホームページ、ポスター等を実施してきたが、必要とする市民等に如何に情報が伝わるようにするか検討する。



パマンブル



ビルドワース

実年セミナー「笑いを人生に活かす」

〈中央公民館〉

- 開設の趣旨 中高年を対象に幅広い趣味や教養を広げるとともに仲間作りをして、今後の生きがいづくりのきっかけとする。
- 期 間 平成29年10月5日（木）～26日（木）（計4回）
- 時 間 午前10時～正午（計8時間）
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・30人
- 参加者 39人 延べ人数109人
- 講座内容

回	月日（曜日）	主題	講師
1	10月5日（木）	笑いヨガを知っていますか？	笑いヨガ協会 杉本由美
2	10月12日（木）	笑いの脳科学最前線	目白大学講師 野澤孝司
3	10月19日（木）	桂歌助の落語講座～落語を通して笑わせる技を身につける～①	落語家 桂歌助
4	10月26日（木）	” ②	”

○ま と め

今年度は、「笑いを人生に活かす」というテーマで3つの講座を組んだ。第一回の笑いヨガは日本笑いヨガ協会から講師を派遣していただいた。笑いの健康効果や笑いヨガ体験など大好評で参加者みんなが笑顔で生き生きと活動していた。会場を視聴覚室にしたため、やや狭かった。第二回は笑いを脳科学の視点から解説していただいた。日本は笑いによって誕生したという天岩戸伝説など意外な内容で楽しめた。第三・四回は、桂歌助師匠から寄席に関する知識や落語の笑いの技を、声、仕草、ネタの三つから教えていただき、2回目では短い小咄を高座で演じるという他では味わえない講座となった。受講生の反応は「とても良いセミナーでした」「また開いてほしい」など、ほぼ満足していただいた。但しこのような連続講座では内容によって参加者が増減するという状況があり、今後検討していく必要がある。

